

### 地域の事業所(企業)



防災啓発のために寄贈された地震体験車



**どんな役割?**  
事業所(企業)の防災に関する役割としては、「お客様や従業員の安全確保」「事業の継続」はもちろんのこと、「地域の防災活動への貢献」が考えられます。具体的には、災害時には事業所(企業)が所有する資源(人材・土地建物・資材など)を活用すること、すなわち従業員がボランティアとして活躍したり、物資の支援を行うことが期待されています。さらには、地域の防災訓練に事業所(企業)として参加するなど、平時時から地域住民や行政と連携を図ることが求められます。

**こんな取組をしています!**  
小牧市に工場のある自動車プラグやICパッケージ等の製造を行う日本特殊陶業株式会社は、小牧市防災訓練や消防出初式など地域の諸行事に積極的に参加しています。

創立70周年記念事業では、地域住民の防災啓発のために小牧市へ地震体験車を寄贈しました。その後地震体験車は、地区開催の防災訓練をはじめ、市内中学校・事業所における避難訓練や小牧市主催の諸行事に利用されています。地震体験を通して地震対策の重要性の啓発に大いに役立てられています。

### 防災・災害ボランティア

**どんな役割?**  
防災・災害ボランティアは、自然災害に見舞われた地域において、被災者の生活支援と被災地の復旧支援を目的として活動するボランティアのことです。阪神・淡路大震災以降、国内外で相次ぐ災害に多くのボランティアが活躍しています。平時からは、地域での防災啓発活動など地域防災力の向上のための取組を行っています。

**こんな取組をしています!**  
防災・災害ボランティアの特定非営利活動法人レスキューストックヤードは、平成18年に、行政・地域住民・大学と協働して、大府市の中京女子大学で「防災運動会」という特徴的な取組を実施しました。企画段階から実行委員会方式で議論を重ね、競技メニューは全部で6種類。安全・安心搬送リレー、「火事だー」大声競争、防災借り物競争、水バック消火競争、パケツリレー、防災地図づくり競争を6地区対抗で行いました。この時築いたネットワークを基に、自主防災会が結成され、現在では自主防災会主催の防災訓練が行われるなど、地域の防災力向上に一役買いました。



レスキューストックヤード企画の防災運動会



### 学校

**どんな役割?**  
学校の防災活動は、登下校時の避難や保護者への引き渡しなど、家庭や地域と深くかかわっているものが多いため、これらとの密接な協力のもとに行われなければいけません。中学、高校などでは、自分の安全確保はもとより、地域の防災活動や災害時のボランティア活動にも参加できるような防災教育が求められています。また災害が発生した場合、多くの学校は避難所として重要な役割を果たします。地域の自主防災会やボランティア組織と連携しながら、避難者名簿の作成、救援物資の分配、衛生管理など、避難所の運営に必要な業務が期待されています。

**こんな取組をしています!**  
愛知県立日進高等学校では、災害が発生した際に率先して支援活動を行うことのできる生徒の育成を目的として、様々な防災教育を行っています。一昨年は「マッペンサンバ」の替え歌「防災サンバ」を制作し、「はーさい甲子園」希望賞を受賞しました。また、防災ミュージカル「はるかのひまわり」を上演し、地域の老人会を招くなど、地域の防災意識の啓発に積極的に取り組んでいます。



防災ミュージカル「はるかのひまわり」



このように地域では、様々な防災に関する取組が行われています。ここで重要なのは、これらの人たちは、皆さんと同じ地域住民であり、**取組の主役は、地域住民の皆さんであるということ**です。地域住民の参加なくしては、これらの取組は成り立ちません。また、参加したことがないという方も、例えば「地域の防災訓練」など、身近な取組から参加してみましよう。

今回ご紹介した各自主防災会の取組等については、自主防災会  
[http://www.pref.aichi.jp/bousai/zisuyoubu\_shoukai/index.html]

### 安城市榎前町 自主防災会



榎前町自主防災会会長 加藤さん



発災対応型防災訓練の様子

安城市の榎前町自主防災会は、シナリオのない防火訓練を町民参加で毎年実施しています。会長の加藤さんにお話を伺いました。

**榎前町自主防災会の特徴** 町内会役員のOBで組織する「OB会」と地元で地域福祉や防災活動等を行っているボランティア団体「ボランティアふれあい「えのき」」が自主防災会に協力することによって、継続的な防災活動を実施することができています。

**取組** 毎年の取組として「中学生防災学習会」と「発災対応型防災訓練」を実施しています。中学生防災学習会は、地元の防災の担い手として期待できる中学生の防災力向上を目的とした講座で、内容は年によって異なりますが、応急手当てや救命救急講座、町内地図を使用した災害図上訓練(DIG)等を行っています。

発災対応型防災訓練は、一言で言うと事前準備をしない訓練です。訓練に参加する町民に訓練の詳細は知らされず、被災時を想定して、近所同士の班単位で安否確認を行い、避難場所へ移動します。避難場所までの経路での火災・倒壊家屋・負傷者など(町民に内緒で仕込んでいたもの)の情報は事態に即した形で町民が収集します。

また、自主防災会を中心とした訓練の運営側についても事前準備はしません。例えば避難場所に設置する本部用資材も、訓練が始まってから、防災倉庫から運び出し設置するといった感じでした。

さらに非常食の炊き出し訓練では、食材すら準備せず、近所の民家から調達しました。

**活動の秘訣** 楽しみながら防災に取組むことが必要だと思います。例えば町内の他のイベントに防災を取り入れるとか。榎前町では、三世代クラブゴルフ大会で参加者が非常食の炊き出しをして、昼食にするといった取組もしました。